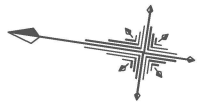
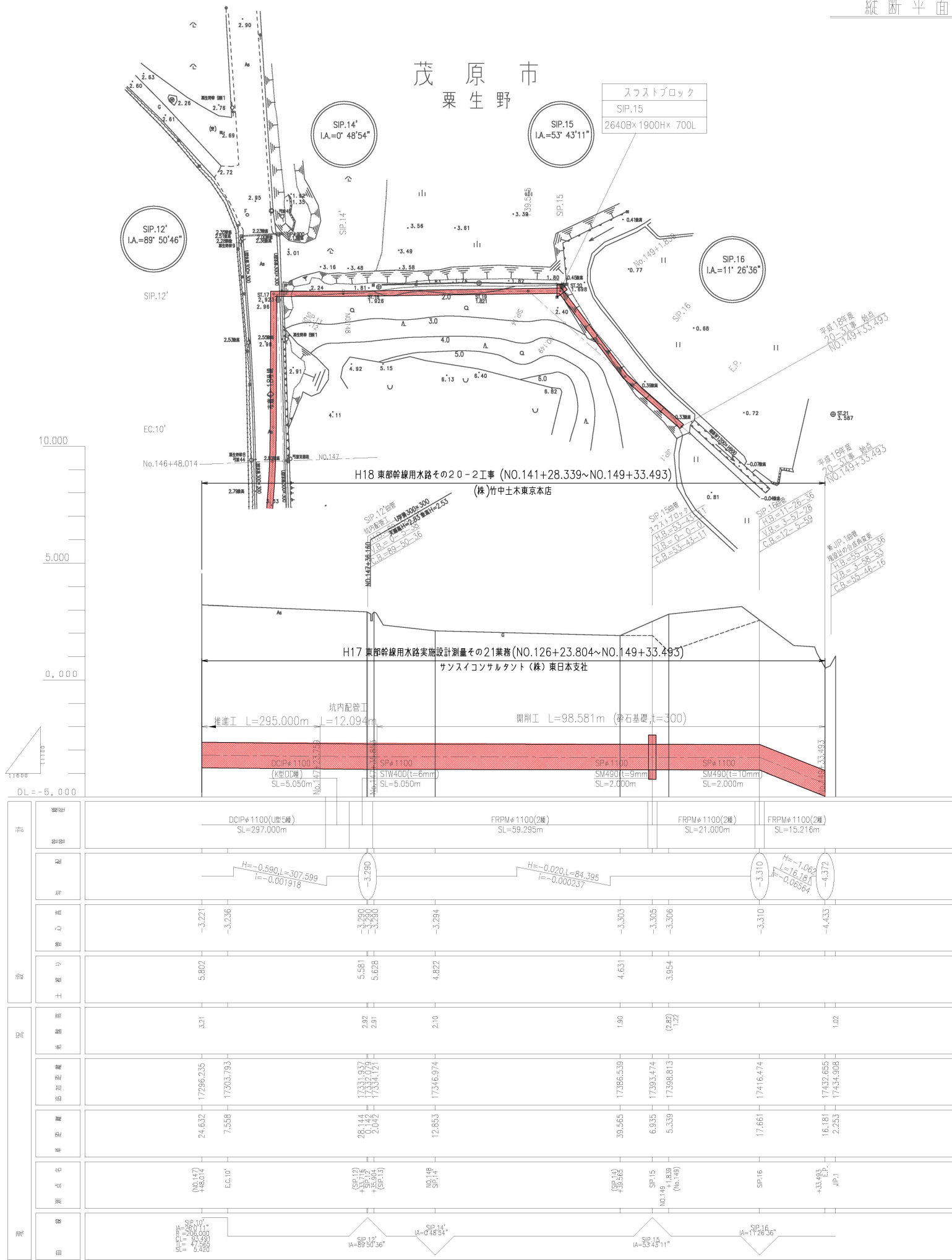


縦断平面図

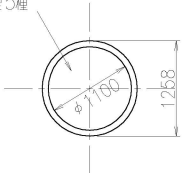


標準断面図

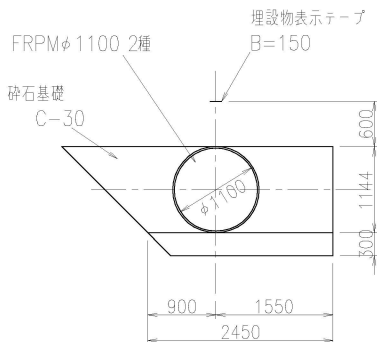
S=1:50

No.129+27.165~No.147+35.853

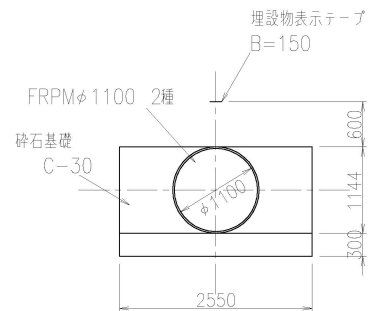
推進工法用ダクタイル鋳鉄管
φ1100 U型5種



No.147+35.853~No.147+43.053



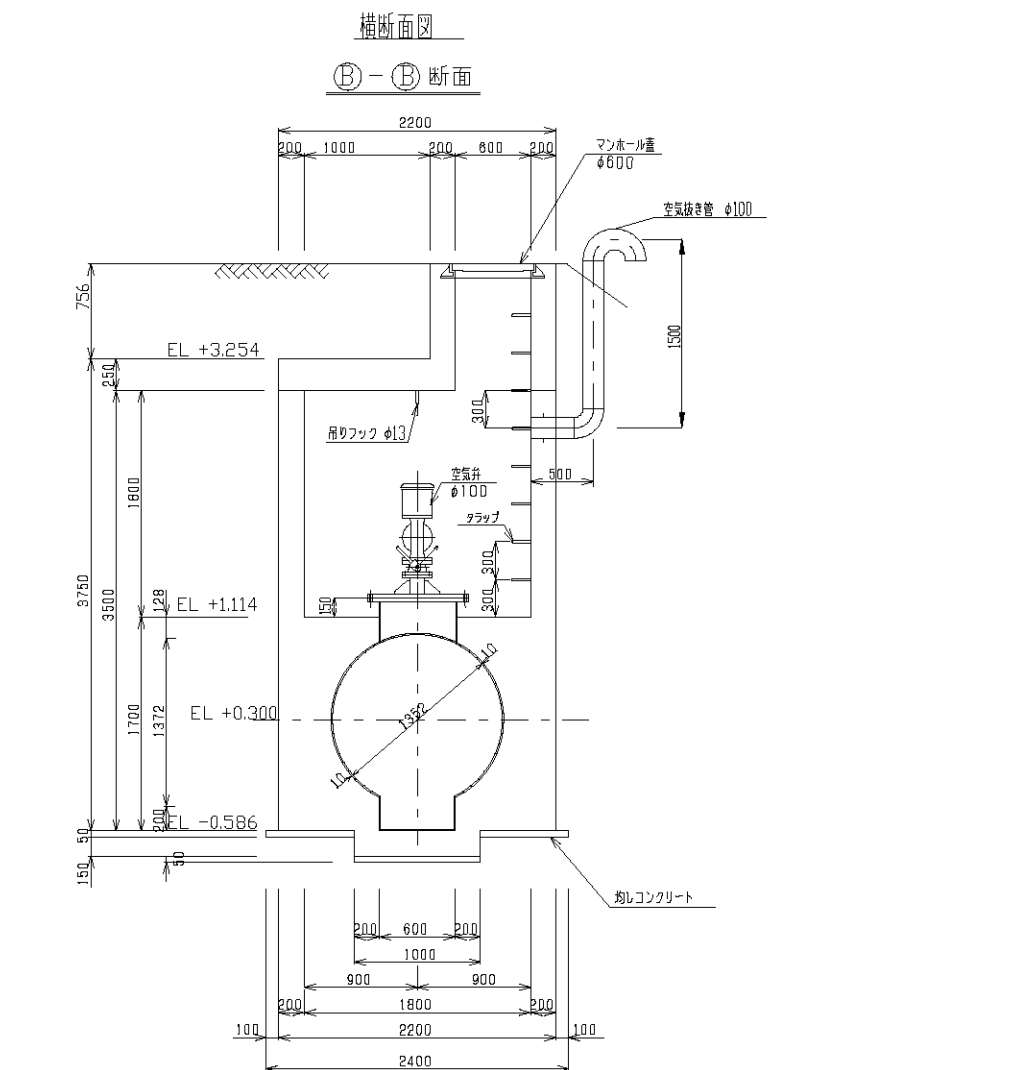
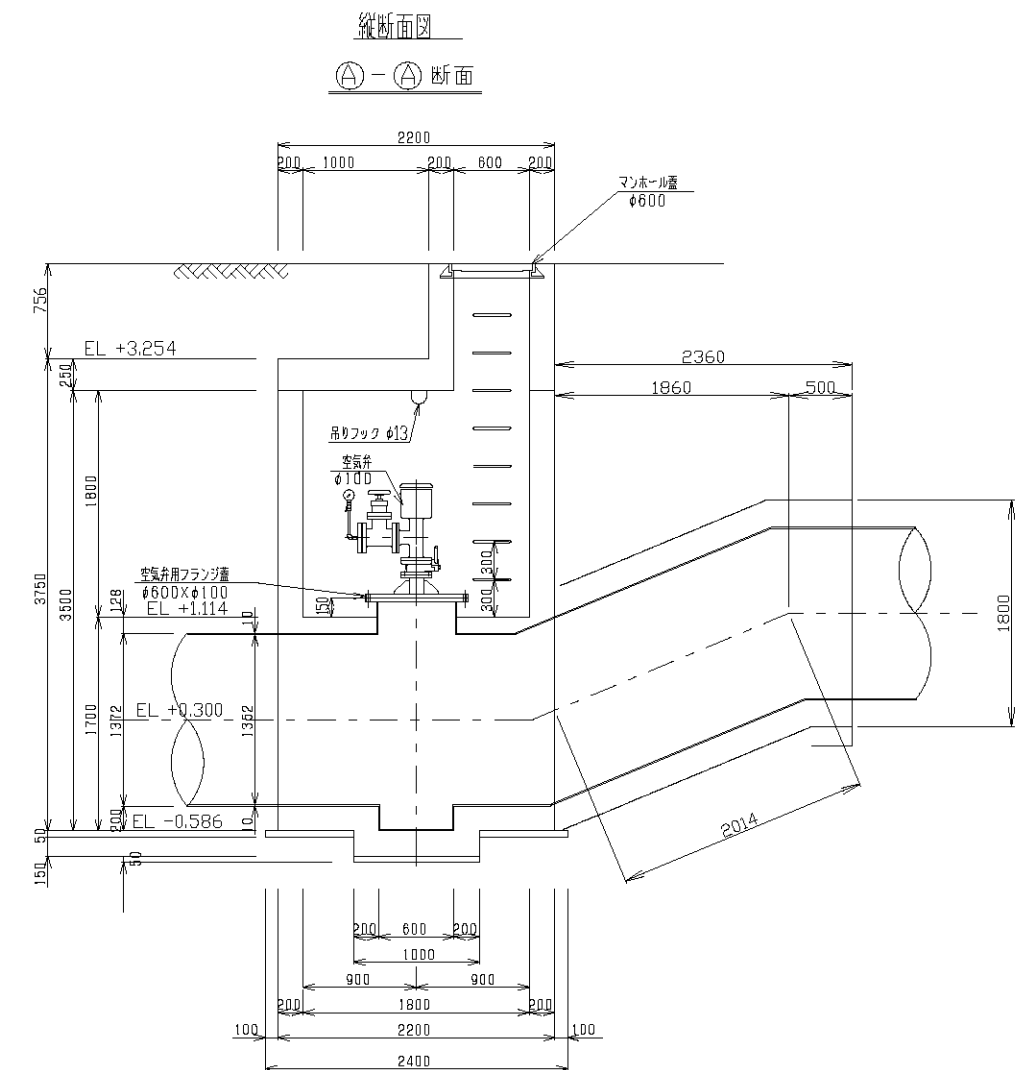
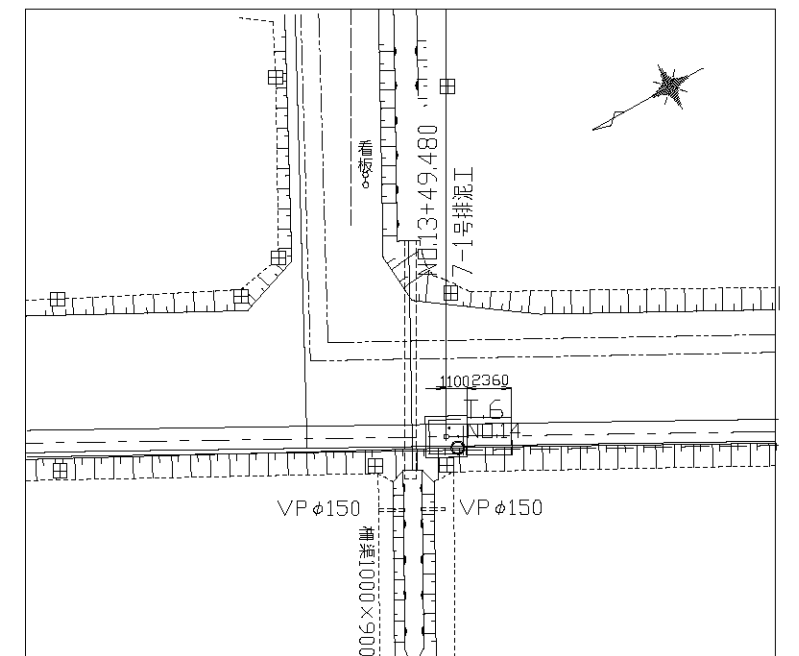
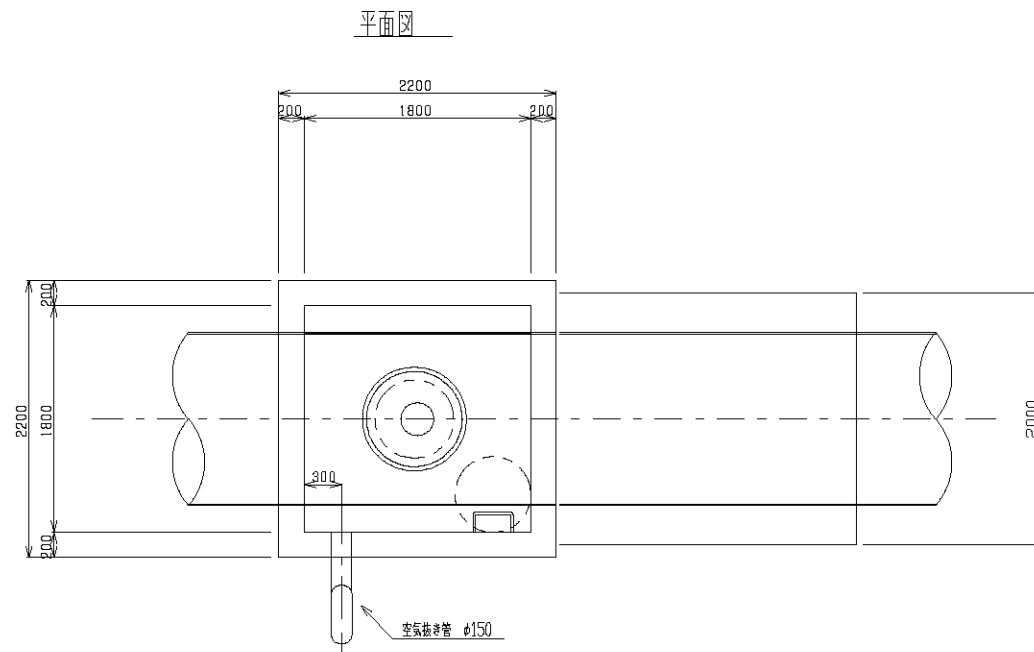
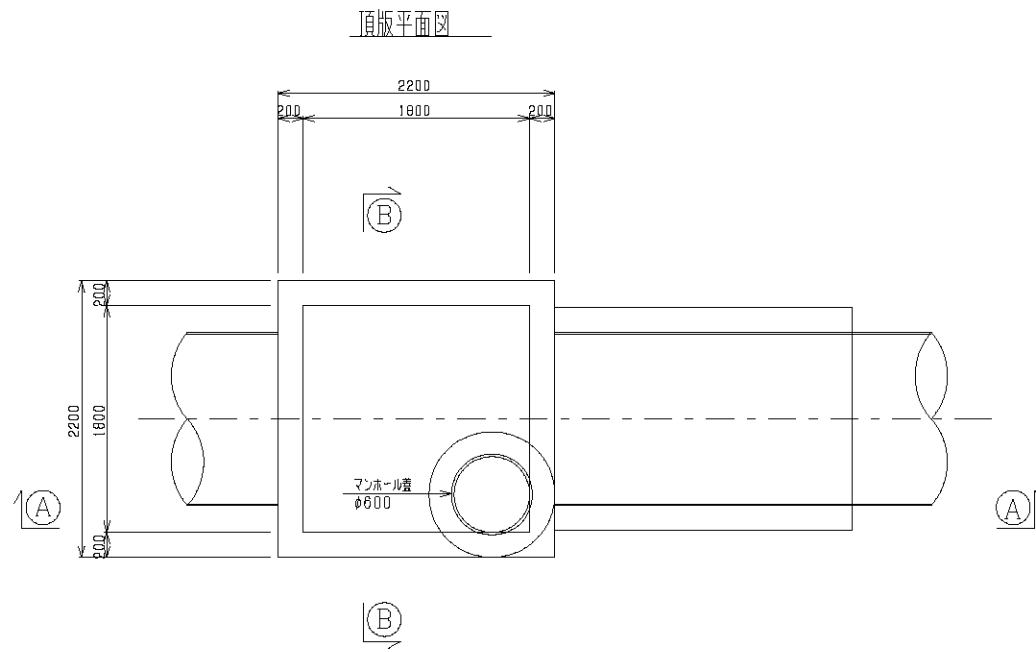
No.147+43.053~No.149+33.493



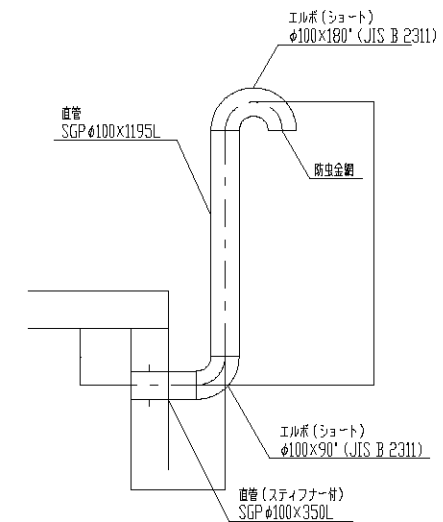
施設名	東部幹線用水路 (0312100-1100-03)	
図面名	縦断平面図	
作成年月日	平成25年3月25日	
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:700 V=1:100 V=1:141	図面番号 6-64/106
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所	

7-1号排泥工構造図

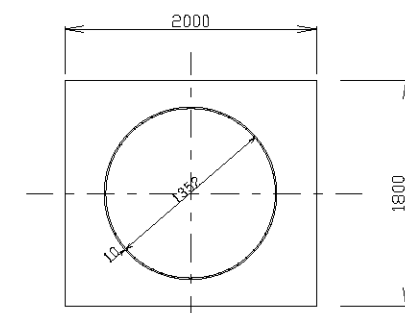
位置図 1:200



空気抜き詳細図 1:20



スラストブロック 1:30



施設名	東部幹線用水路 (0312100-1100-03)		
図面名	7-1号排泥工構造図		
作成年月日	平成25年3月25日		
縮尺	図示	図面番号	8-48/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所		

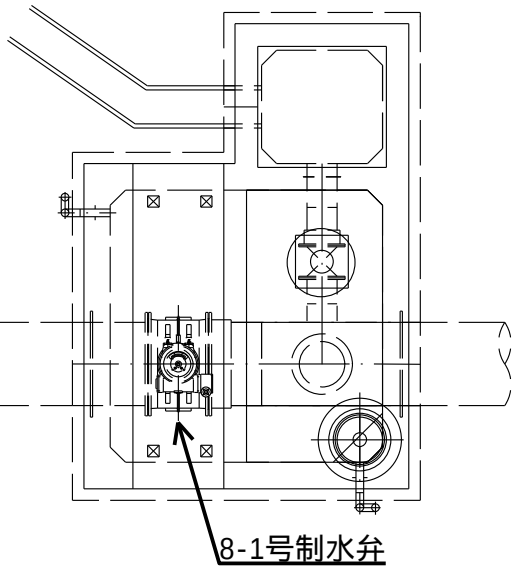
排泥工番号			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°28'24.47"		
12号排泥工			関連事業名				経度	140°21'23.02"		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.36m³/S	施設容量 1.36m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	1.60 -4.52	
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位		

概要

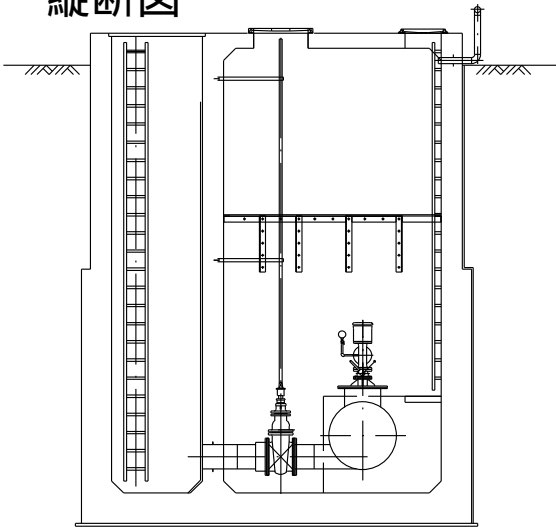
受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川赤目川左岸側に面した耕地への進入路の終点に隣接しコンクリート構造の弁室が目印である。排泥工弁室内には仕切弁のほか8-1号制水弁が設置されており、制水弁工施設としても機能している。

平面図



縦断面図



弁室人孔（マンホール）
8-1号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。

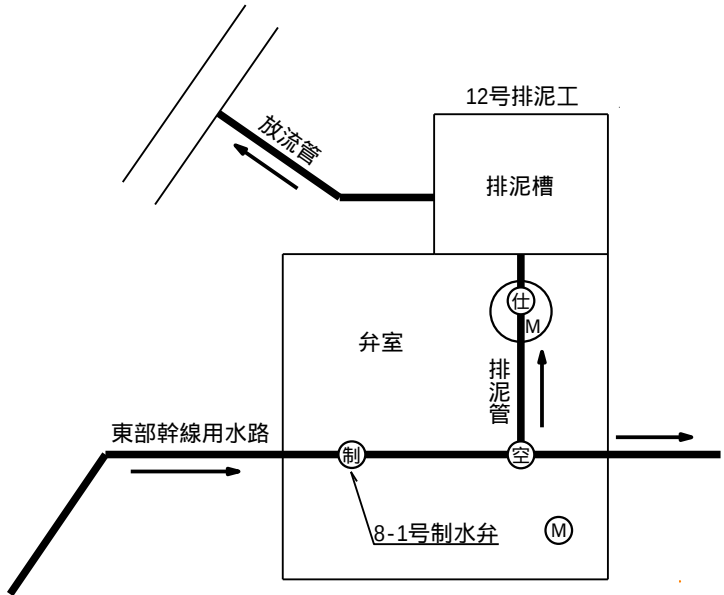
弁保護工（マンホール）
12号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作はφ300mmのマンホール弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 24.47 "	
12号排泥工			関連事業名				経度	140 ° 21 ' 23.02 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ
制 水 弁 8 - 1 号 制 水 弁	⊙

【排泥弁について】
12号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

【制水弁について】
8-1号制水弁工の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁（上部ハンドル付:開は時計廻り)の使用が望ましい。